

歩くだけで健康リスクを見える化

WM HEALTH CHECKER

ウォークメイトヘルスチェッカー

2026年7月9日

WALK-MATE LAB株式会社

「ふくロボ」に登録されている 歩行分析システムの成果を活用



29 ウェアラブルな高感度センサーを用いた歩行計測・分析システム

高齢・災害対応・インフラ点検 農業 医療・福祉 教育 その他

一般医療機器

WM GAIT CHECKER Pro



一般分析機器

WM GAIT CHECKER



解析
表示



後方から見た足首軌道の表示



上方から見た足首軌道の表示



腰軌道の表示



側面から見た足首軌道表示

小型ウェアラブルセンサーを左右足首と腰にベルトで装着し、アプリを起動することで、歩行の計測・分析・見える化・結果データ出力までの一通りのプロセスをワンストップで行います。

歩行の診断支援の他、様々な応用領域に活用することが可能です。

仕様

小型慣性センサーを両足首と腰に専用のベルトで装着、センサーと専用タブレットを無線接続し、センサーで取得した歩行に関する加速度データを独自のアルゴリズムで一歩一歩の歩行の三次元軌道・腰軌道を解析する歩行分析システム。

【WMGC Pro】一般医療機器で医療機関向け

保険診療の適用 (D250 平衡機能検査250点) が可能

【WMGC】一般分析機器で、主に大学、研究機関、各種施設機関向け

特長

- ・一歩一歩の歩行の三次元軌道と腰部の軌道を計測し、分析するシステム
- ・小型軽量でいつでもどこでも計測可能
- ・左右の歩行差、過去或いは他者との差異分析、歩行の動画と連携した確認が可能
- ・重心動揺計測やすくみ指数の計測が可能
- ・データの保存、共有、レポート印刷が可能

WALK-MATE LAB 株式会社

事務所 東京都八王子市東町7-6
エバース第12八王子ビル5F
連絡先 ☎042-649-4811
WEB <https://walkmate.jp/>
製造元 株式会社菊池製作所 南相馬工場



※現在、複数の医療機関や研究機関などで導入・活用頂いています。



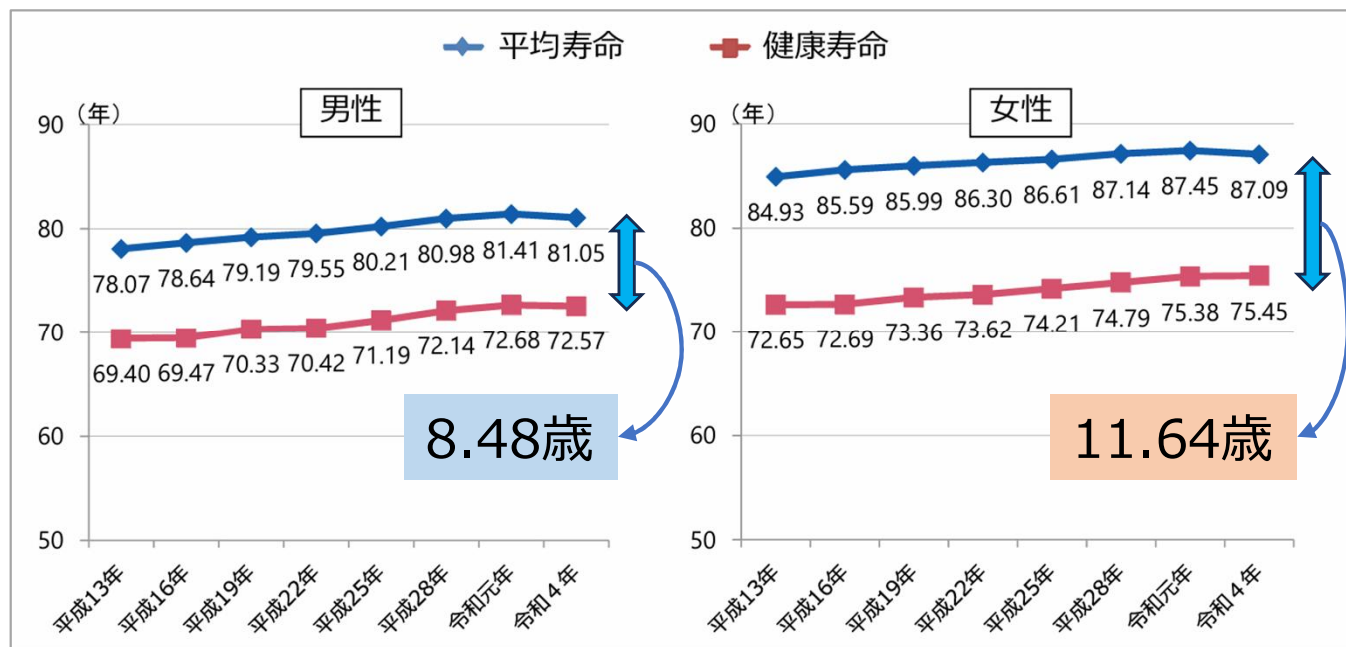
「WM HEALTH CHECKER」は、この歩行分析システムの 分析結果を活用して健康度リスクを見える化

0. 開発の背景
1. 社会課題
2. なぜ歩行なのか
3. システムの概要
4. システムの特徴
5. 健康づくり支援
6. 導入効果
7. 社会インパクト
8. まとめ

- 歩行分析システムは、医療機関、大学等で活用頂いている
- デイケア、リハビリ施設、フィットネスジム他、健康イベント等での試用・評価で、以下の様な意見を多数頂いた
 - 私の歩行は、普通？
 - 健康のリスク（例えば、転倒リスク）などは判らないのか？
 - リスクがあれば、どこを、どうすれば良いのか判ると嬉しい
- 上記意見を参考に、歩行分析システムの歩行計測結果を元に、今回発表するWM HEALTH CHECKERを開発した
- 現在、PoCを使い、メディカルフィットネスジム等で実証実験中
- 本年9月頃から販売開始予定

1. 社会課題

■ 健康寿命と平均寿命 → 健康寿命の延伸が必要



第4回 健康日本21（第三次）推進専門委員会 資料1-1 令和6年12月24日

■ 高齢化に伴い転倒、フレイル、腰痛、膝痛 が急増

- これらは、「介護」、「要支援」、「医療費増大」の入り口に！
- 日本では毎年約20～25万人が転倒によって大腿骨近位部を骨折(*)

(*)厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業 骨粗鬆症検診実施率・受診率向上に資する検診実施体制の見直しのための研究（24FA1003） 令和6年度 総括・分担研究報告書



治療ではなく「予防」が重要

2. なぜ歩行なのか

◆ 歩行は全身の健康状態を映すバロメーター

歩行には様々な身体機能が反映される



歩行の変化を捉えることで、健康リスクを早期に発見することが可能

3. システムの概要

◆ 測る、知る、動く、確かめる、健康づくりサイクル

① 測る

歩行計測

センサーを着けて
10m歩くだけ



② 知る

AI分析

4つのリスク
(転倒、フレイル、
腰痛、膝痛)
をスコア化



③ 動く

エクササイズ提案

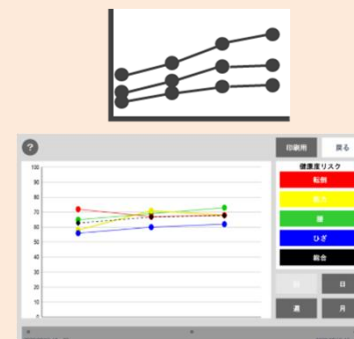
おすすめの
エクササイズ
(動画付き)
を提示



④ 確かめる

再計測

変化のプロセスを
グラフ化
→数値で実感し
継続へ



4. システムの特徴

◆ 歩行から健康リスクを可視化、未来を守る

- 歩行年齢の推定



- 4つのリスクの推定



- おすすめエクササイズ(動画付き)

■推奨エクササイズ

1. 片足立ちバランス

- ・目を閉じたまま、机などに捕まりながら、片足で1分間キープします。
- ・1日の目安は、左右各1分×2〜3セットです

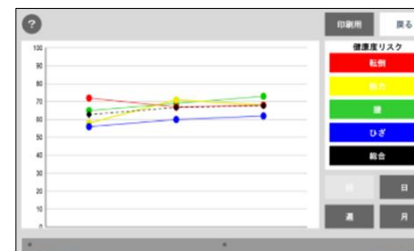


2. 内転筋ストレッチ

- ・足を肩幅の2倍に開いて立ち、骨盤の横に手を置きます。骨盤を手で押して側方に移動させながら上体を逆方向に傾けキープします。
- ・1日の目安は、左右各30秒×2〜3セット、右側を長く伸ばしましょう。



- 推移グラフで変化を確認



◆ リスクに応じたおすすめエクササイズを提案

- 現在のリスクを低減するために**効果的なエクササイズ**をAIが自動選定
- 専門家がいなくても、動画を見ながら 正しいフォームでトレーニング可能
- 無理のない**パーソナライズ化したエクササイズ**
- 「何をすればいいか」を迷わない体験



The screenshot shows a user profile for a 63-year-old male with a walking age of 63 and a health risk score of 62. The app recommends two exercises: 1. 片足立ちバランス (One-foot standing balance) and 2. 内転筋ストレッチ (Inner thigh stretch). A blue circle highlights the recommended exercises section, and a blue arrow points to a video player showing a person performing the exercises.

自動判定された
おすすめエクササイズ

動画を見ながら運動

(例) 転倒リスクが高い方への
おすすめエクササイズ



片足立ち
バランス



スクワット



ニーリフト

◆ 社会のあらゆる現場で健康を創る



フィットネスジム

- ・会員サービスの付加価値向上



自治体・健康経営

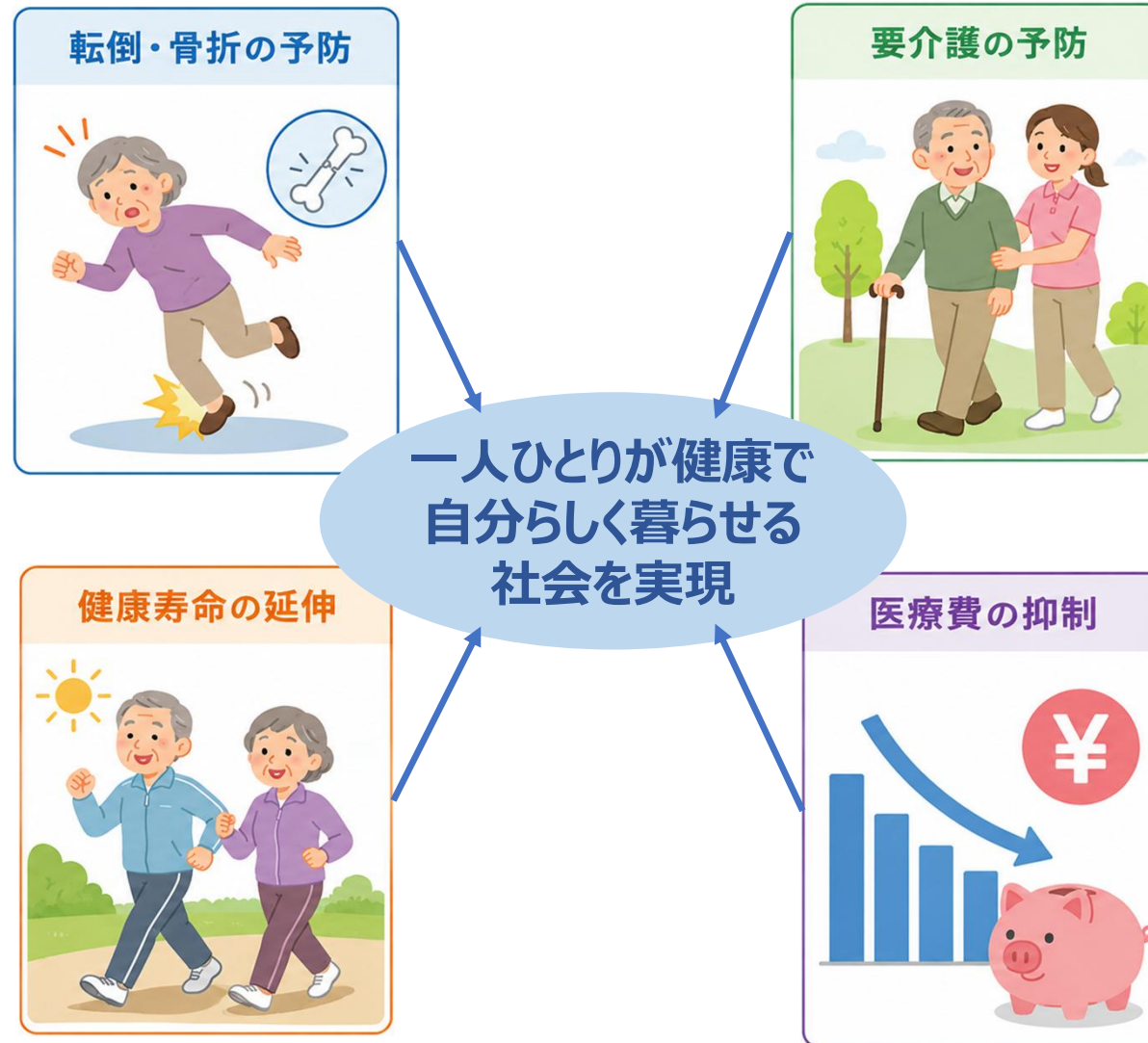
- ・住民の健康増進
- ・医療費抑制
- ・従業員の健康増進
- ・生産性向上



医療・予防

- ・介護予防
- ・リハビリ支援の質向上

◆ 健康づくりの推進で、よりよい社会へ！



◆ 「歩くだけで、未来の健康を変える」

健康は、「治す」から「予防する」へ。

私たちは、歩行データとAIの力で、

一人ひとりが健康を維持し、

自分らしく輝ける社会を目指します。